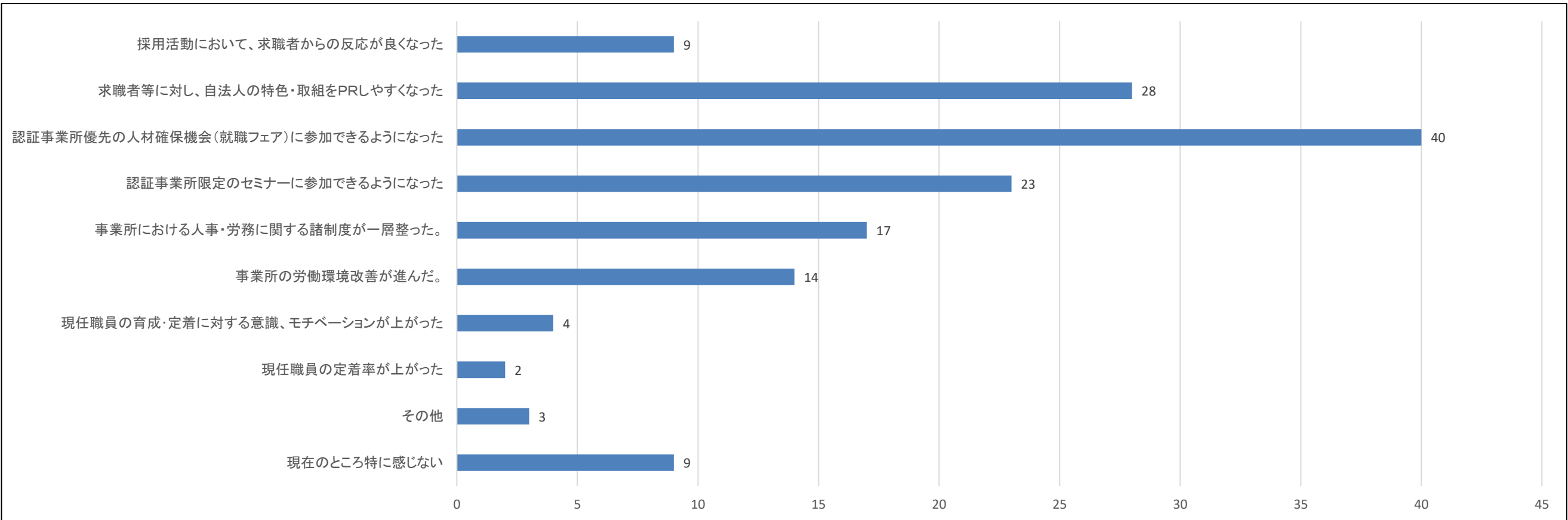


- 実施概要：認証事業所(法人単位)に対して、当制度の今後の充実にむけ、法人の皆様の取組状況やご意見をお聞かせいただくことを目的としてアンケート調査を実施。
- 実施方法：認証事業所(法人単位)に対し、メールにてアンケート調査票を送付
- 実施期間：令和5年9月12日～9月25日
- 実施対象：認証取得事業所(64法人から回答)

1. 認証取得後の具体的な効果として感じていることを教えてください。(複数回答可)

- 1位：認証事業所優先の人材確保機会(就職フェア)に参加できるようになった(40)
- 2位：求職者等に対し、自法人の特色・取組をPRしやすくなった(28)
- 3位：認証事業所限定のセミナーに参加できるようになった(23)



- ・認証取得後の具体的な効果として、「認証事業所優先の人材確保機会(就職フェア)への参加できるようになった」との回答が最も多かった。
- ・求職者等に対し、自法人の特色・取組をPRしやすくなったという回答も多く認証取得過程において、自法人の強みなど整理することができたことがうかがえる。
- ・一方で認証取得後の具体的な効果を実感できていないという回答もあった。

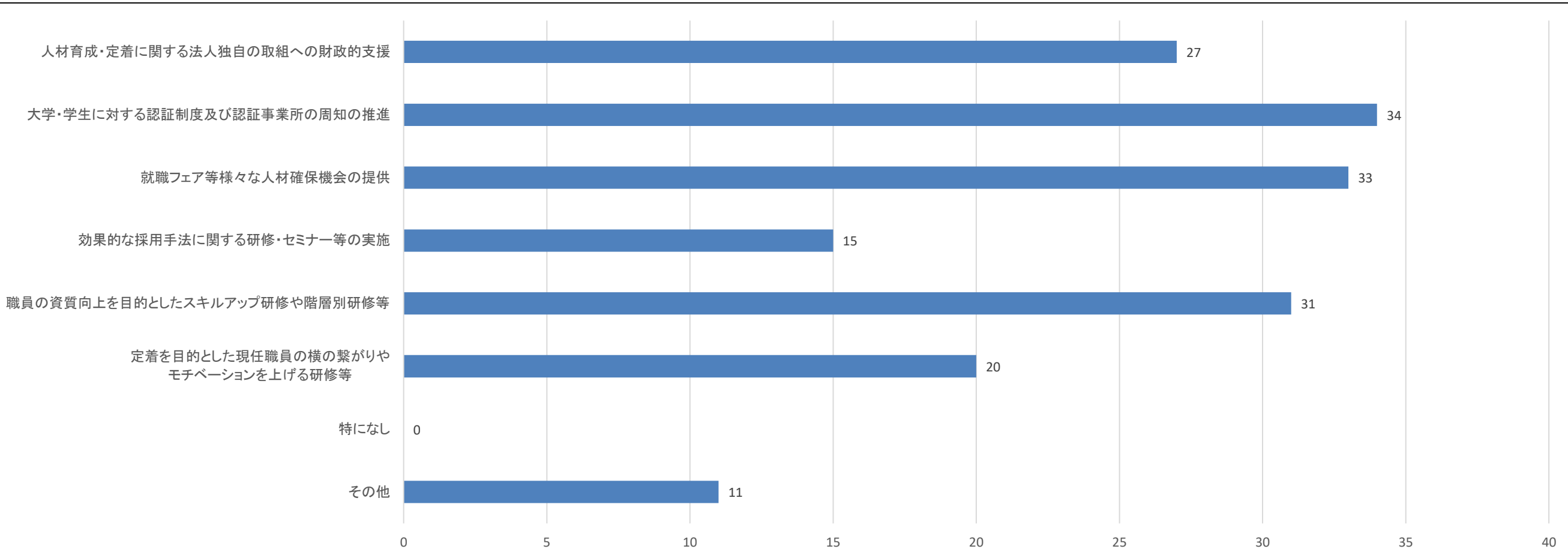
認証事業所に対するアンケート結果について

2. 採用、人材育成・定着のための取組をさらに進めるために、どのような支援・取組が必要と考えますか。(複数回答可)

1位 : 大学・学生に対する認証制度及び認証事業所の周知の推進(34)

2位 : 就職フェア等様々な人材確保機会の提供(33)

3位 : 職員の資質向上を目的としたスキルアップ研修や階層別研修等(31)



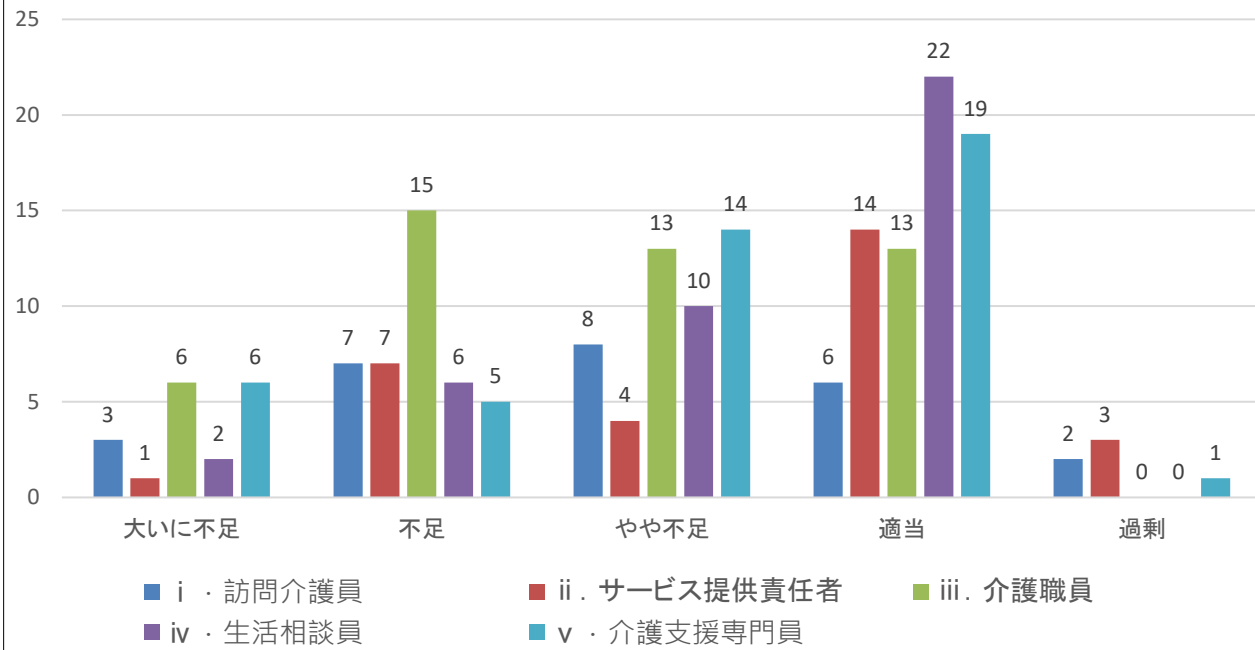
・今後採用、人材育成・定着のための取組をさらに進めるためには、大学・学生など若い世代に認証制度及び認証事業所の周知を推進していくことや就職フェア等様々な人材確保の機会が求められている。

・人材の定着の観点から、職員の資質向上を目的としたスキルアップ研修や階層別研修等の機会が必要との回答が多かった。

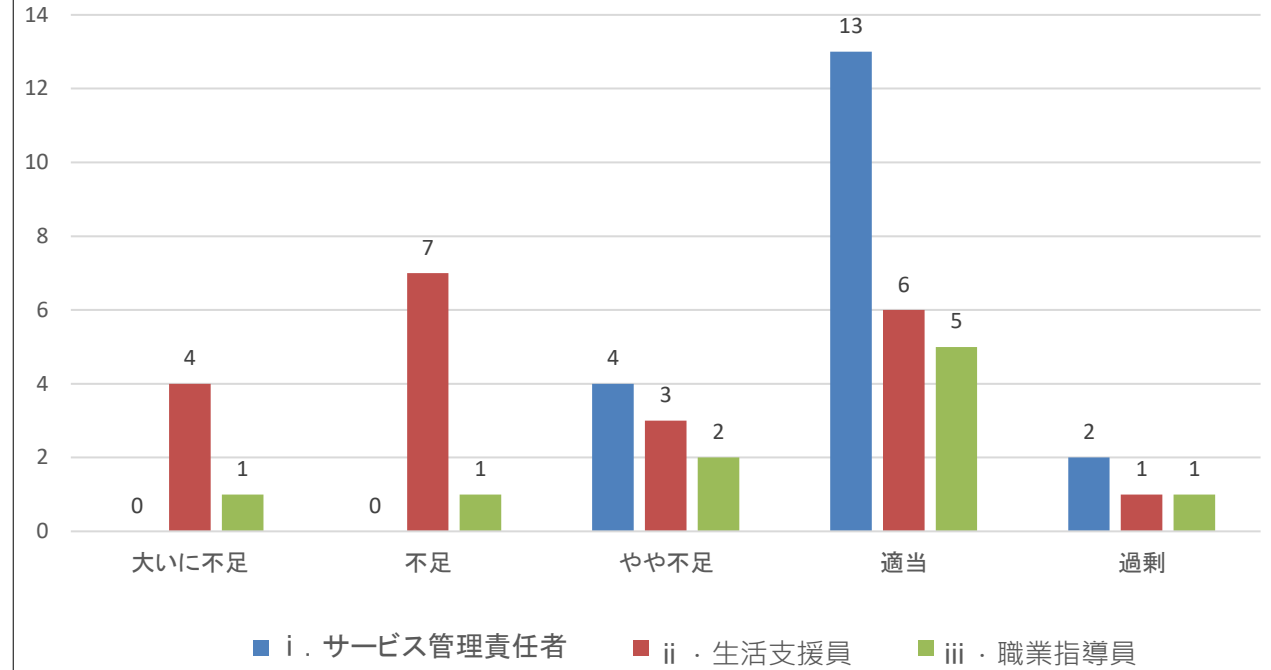
認証事業所に対するアンケート結果について

3. 貴法人では、従業員の職種別過不足の状況は次のどれにあてはまりますか。

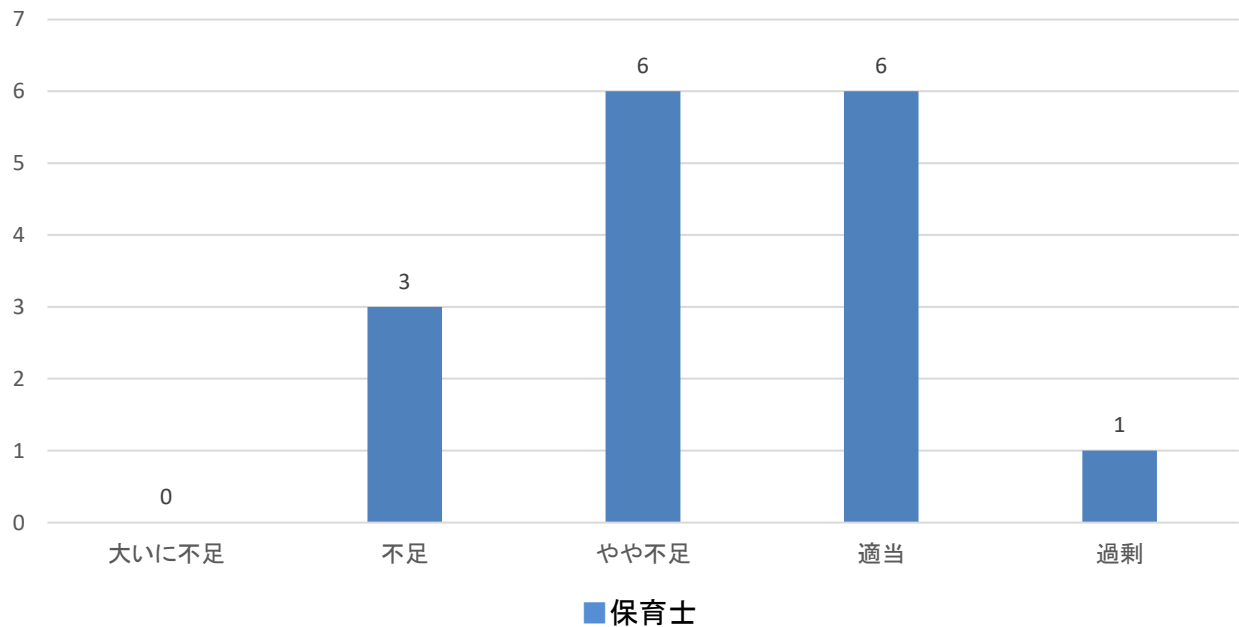
【高齢者福祉事業所】



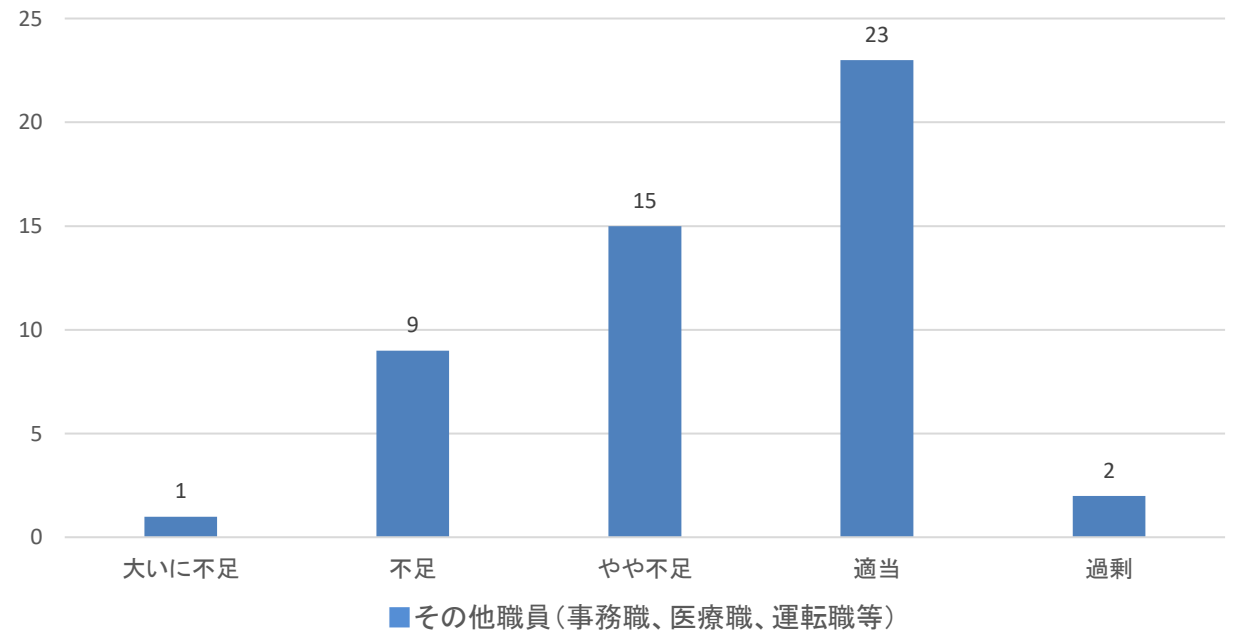
【障害福祉事業所】



【児童福祉事業所】



【共通】



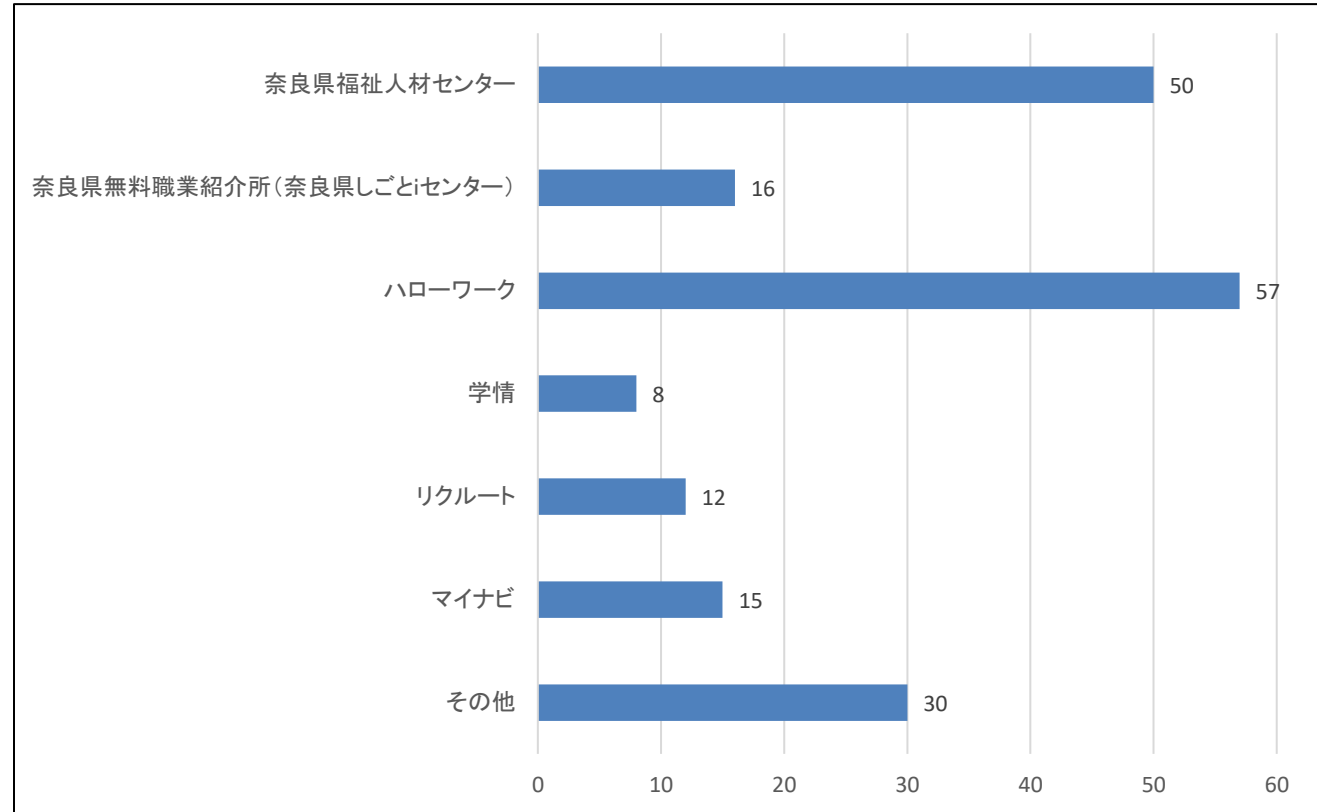
認証事業所に対するアンケート結果について

4. 求人の際し、どのような機関を活用していますか。(複数回答可)

- 1位：ハローワーク(57)
- 2位：奈良県福祉人材センター(50)
- 3位：その他(30)

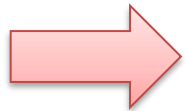


・ハローワーク、福祉人材センターを主に利用されている法人が多い。また複数の機関を利用されている法人も多い。その他の回答では、有料の人材紹介を活用している法人が23件あり多く占めている。

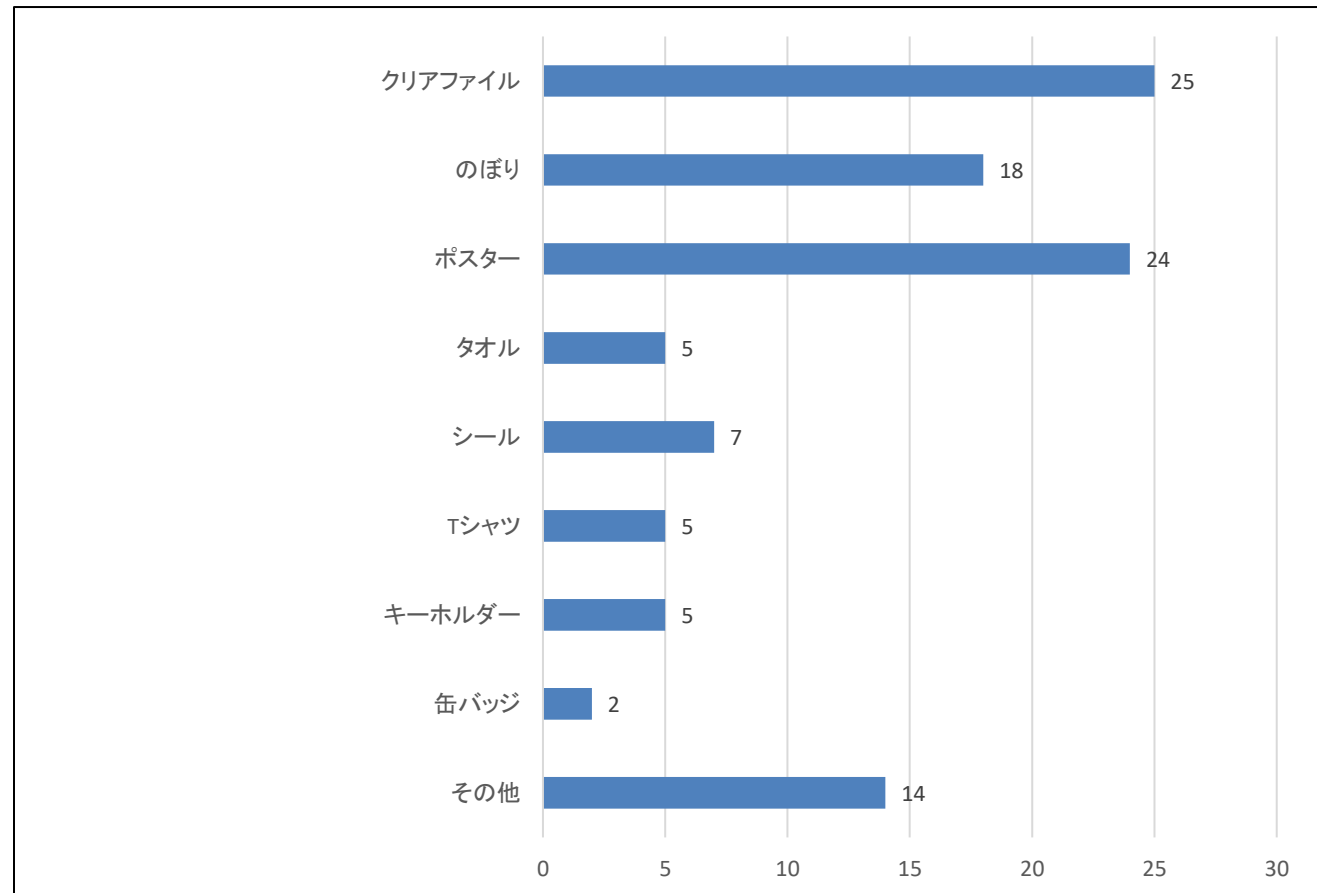


5. 広報グッズについてどのようなものがあれば、認証事業所のPRに効果的だと思われますか。(複数回答可)

- 1位：クリアファイル(25)
- 2位：ポスター(24)
- 3位：のぼり(18)



・クリアファイル、ポスターといった広報グッズが効果的であるという意見が多かった。



その他意見

問2. 採用、人材育成・定着のための取組をさらに進めるために、どのような支援・取組が必要と考えますか。

- ・他業種からの人材の流入が見込める施策の推進
- ・職員の給与への支援、長期就業者への特典、福利厚生への支援など、他産業と比較しても介護業界が魅力的と感じてもらえるような体制作りへの支援
- ・福祉・介護の仕事に対するイメージの向上
- ・働きやすい職場環境を作っていくための取り組みとして、現場の生産性の向上を図る為のICT導入、3M(無理・無駄・ムラ)解消等の取り組みについての勉強会等

問4. 求人に際し、どのような機関を活用していますか。

- ・有料人材紹介・派遣、介護労働安定センター、各種学校訪問、外国人材機関

問5. 広報グッズについてどのようなものがあれば、認証事業所のPRに効果的だと思われますか。

- ・フクシカくんグッズ、認証制度の詳しい説明されたパンフレット、インターネット広告、TV番組企画、インスタグラム等のSNSの活用その他、特に必要ないとの意見もあった。

その他意見

問6. 「奈良県福祉・介護事業所認証制度」全般についてのご意見を自由にご記入ください。

- ・同一業界内の優位性ではなく、他業種からも目を向けられる制度にしてほしい。取得のためのインセンティブも考えていただきたい。
- ・平成28年度に運用が始まりすでに7年目となりますが、制度の認知度はほぼないと言っても良いくらいなので、認証を受けるメリットを感じることはありません。またその間、制度自体の改良がされた形跡もありません。更新の手間だけが事務負担になるだけです。
- ・人材不足の中、がんばった分、アピールできる機会をいただける取り組みに心から満足しております。今後も新事業所ができるたびにチャレンジしたいと考えております。
- ・福祉の枠にとらわれず、異業種や福祉系以外の大学等にも福祉の仕事の良さが伝わると、求職者にとっても事業所にとってもプラスになると思います。
- ・介護職も含め、一般の方々への浸透が行き届いていない。知名度は低い。
- ・今は数多くの事業所が取得していることと思いますので、更に上位の制度を作るのも良いのではと感じます。
- ・NPO法人で初めて認証を取得したことを誇りに、職員のモチベーションを上げ、活動してまいります。
- ・職員募集、採用にあたって、事業所として制度を有意義に活用できていないのが現状です。小規模施設ですので、新卒求人においては、広く募集するというよりは、施設実習にこられた学生(養成校)向けに広報の方が効果的なのですが、やはりそれだけでは採用に繋がりにくくなってきています。認証事業所に所属する具体的なメリットがあればと思います。
- ・認証事業所向けの限定の研修をもっと増やしてほしい。

今後の方針について

今回のアンケートにより様々な意見をいただいた。

今後さらに認証制度の運営について介護事業所の認証評価制度のさらなる普及促進に向けては、認知度のさらなる向上、そのための各種取組促進、加えて認知している人が探索、利用し、情報共有できるような仕組みが重要であることから、認証事業所にむけて、以下の項目についてアンケート調査を実施したい。

【例】

対象：認証事業所に勤務する新規採用後1～3年目の職員

- ・福祉・介護事業所で働きたいと思ったきっかけは何ですか。
- ・入職前に奈良県福祉・介護事業所認証制度という制度そのものについて存在をご存じでしたか。
- ・認証制度について知ったきっかけはどのようなものですか。
- ・入職前と入職後のイメージについてギャップはありましたか。ある場合はどのような点にギャップを感じましたか。
- ・認証制度の仕組みや、事業所の特徴についてどのようなツールや機会があれば把握しやすいですか。

目的

アンケート結果を基に、認証評価制度の認知度を高め、学生・生徒等の求職者への就業先紹介において認証事業所の情報を参考にしてもらうためには、活用しやすいツール・媒体を整備していくことも重要なことから、今後どのような取組が必要か検討していく。